

「府内の介護老人保健施設における歯科保健の取り組みについての調査」調査結果

1. 調査目的

大阪府歯科口腔保健計画(計画期間:平成26年度から29年度)の評価を行うにあたり、定期的に歯科健診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科保健の実態を把握するため、介護老人保健施設における歯科保健の取り組みについて実態調査を行った。

2. 調査対象

府内に所在する介護老人保健施設 217 施設

3. 調査項目

- (ア)施設の入所定員
- (イ)歯科医師による歯科健診の実施状況
- (ウ)口腔ケアの実施状況
- (エ)歯科保健に関する取り組みの実施状況
- (オ)入所者の満足度について
- (カ)歯科保健向上のための意識

4. 実施方法

(1)調査方法

府内政令市・中核市所在の介護老人保健施設に対し、府健康づくり課から当該市の介護保険施設担当課を介して依頼し、また、政令市・中核市を除く市町村所在の介護老人保健施設に対し、府健康づくり課から直接依頼し、調査票をメールまたはFAXにて回収。

(2)調査時期

平成28年9月5日～平成28年10月20日

5. 調査結果

(1)回答状況

217 施設中 130 施設から回収(回収率:59.9%)

(2)調査結果

(ア) 施設の入所定員

○入所定員は、「100人以上150人未満」の施設が49.2%で最も多く、次いで「50人以上100人未満」の施設が40.6%である。(表1)

表1 施設の入所定員

入所定員	回答数/総数	
	施設数	割合
50人未満	3/128	2.3%
50人以上100人未満	52/128	40.6%
100人以上150人未満	63/128	49.2%
150人以上	10/128	7.8%

(イ) 歯科医師による歯科健診の実施状況

○歯科医師による歯科健診を受ける機会が「あり」と回答した施設が88.4%で、年1回以上の定期的な歯科健診を実施している施設は、29.5%である。(表2)

表2 歯科医師による歯科健診の実施状況

健診を受ける機会	回答数/総数	
	施設数	割合
あり	114/129	88.4%
定期的	38/129	29.5%
年1回	4/129	3.1%
年2回	2/129	1.6%
年3回以上	32/129	24.8%
不定期	50/129	38.8%
その他	26/129	20.2%
なし	15/129	11.6%

○歯科健診を受けることが大切だと思うかについて、「そう思う」と回答した施設が99.2%である。(表3)

表3 歯科健診受診の大切さ

歯科健診受診の大切さ	回答数/総数	
	施設数	割合
そう思う	128/129	99.2%
そう思わない	1/129	0.8%

(ウ) 口腔ケアの実施状況

○職員による口腔ケアの対象者について、「配慮が必要な場合、職員が実施」している施設が84.6%、「すべての入所者に対し、職員が実施」している施設が13.1%で、合わせると職員が関与している施設の割合は、97.7%である。(表4)

表4 口腔ケアの対象者

口腔ケアの対象者	回答数/総数	
	施設数	割合
すべての入所者に対し、職員が実施	17/130	13.1%
配慮が必要な場合、職員が実施	110/130	84.6%
関与せず、入所者本人が実施	2/130	1.5%
その他	1/130	0.8%

○職員による口腔ケアの実施回数は、「1日3回以上」実施している施設が66.2%で最も多い。(表5)

表5 職員による口腔ケアの実施状況

口腔ケアを受ける機会	回答数/総数	
	施設数	割合
1日3回以上	86/130	66.2%
1日2回	26/130	20.0%
1日1回	9/130	6.9%
その他	9/130	6.9%

○職員による口腔ケアの内容は、「歯ブラシを使って磨く」施設が 95.4%と最も多く、次いで「スポンジブラシを用いた粘膜・舌等の清掃」を行っている施設が 86.9%となり、「口腔乾燥や舌の汚れのある方に保湿剤を用いた口腔ケア」、「舌ブラシを用いた舌の清掃」を行っている施設がそれぞれ 6 割近くある。(表 6)

表 6 口腔ケアの内容

口腔ケアの内容	回答数/総数	
	施設数	割合
歯ブラシを使って磨く	124/130	95.4%
歯間ブラシや糸ようじなど補助清掃用具を使った清掃	44/130	33.8%
スポンジブラシを用いた粘膜・舌等の清掃	113/130	86.9%
水流式歯ブラシを用いた口腔ケア	13/130	10.0%
口腔乾燥や舌の汚れのある方に保湿剤を用いた口腔ケア	75/130	57.7%
舌ブラシを用いた舌の清掃	74/130	56.9%
その他	27/130	20.8%

(エ) 歯科保健に関する取り組み実施状況

○歯科保健に関する取り組みの実施状況は、「入所者の歯や口の健康について、歯科医師、歯科衛生士等の専門家に相談している」施設が 94.6%で最も多く、「施設内のカンファレンス等において、入所者の歯や口の健康について取り上げている」施設が 76.9%、「施設の職員が歯や口の健康に関する研修を受けるなどの機会を設けている」施設が 70.0%、「唾液腺マッサージや嚥下訓練など口腔機能の維持向上に関する取り組みを行っている」施設が 70.0%との回答になっている。(表 7)

表 7 歯科保健に関する取り組みの実施状況

実施している取り組み	回答数/総数	
	施設数	割合
入所者の歯や口の健康について、歯科医師、歯科衛生士等の専門家に相談している	123/130	94.6%
施設の職員が歯や口の健康に関する研修を受けるなどの機会を設けている	91/130	70.0%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯や口の健康について取り上げている	100/130	76.9%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定している。	54/130	41.5%
唾液腺マッサージや嚥下訓練など口腔機能の維持・向上に関する取り組みを行っている	91/130	70.0%
その他	18/130	13.8%

(オ)入所者の満足度について

○歯科保健に関する取り組みについて、入所者のニーズを「ある程度満たしている」施設が 63.3%と最も多くなっている。(表 8)

表 8 歯科保健に関する取り組みに係る入所者の満足度

入所者の満足度	回答数/総数	
	施設数	割合
十分満たしている	12/128	9.4%
ある程度満たしている	81/128	63.3%
やや不足している	34/128	26.6%
まったく不足している	1/128	0.8%
その他	0/128	0.0%

(カ) 歯科保健向上のための意識

○歯科保健向上のための取り組みで必要と考える取り組みは、9割以上の施設から、「歯科医師・歯科衛生士等の専門家からの指導・助言」、「施設の職員の口腔ケアに関する知識・技能向上のための講習会等の実施」、「入所者の口腔ケアのプラン作成やカンファレンスにおける情報共有」との回答になっている。(表 9)

表 9 歯科保健向上のために必要と考える取り組み

必要と考える取り組み	回答数/総数	
	施設数	割合
歯科医師・歯科衛生士等の専門家からの指導・助言	128/130	98.5%
施設の職員の口腔ケアに関する知識・技能向上のための講習会等の実施	129/130	99.2%
入所者の口腔ケアのプラン作成やカンファレンスにおける情報共有	122/130	93.8%
口腔ケア用品の充実	112/130	86.2%
その他	13/130	10.0%

※割合については、四捨五入の関係で合計が 100%となっていない場合があります。